

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒1人1台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町1134番地1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

5月から児童生徒1人1台端末(以後「GIGA 端末」)の本格運用が始まりました。各校での活用状況はいかがでしょうか。GIGA スクール構想実現に向け、先生方の得意、不得意に関わらず「GIGA 端末」はすべての児童生徒が一様に活用していくべきものです。

今回の「GIGA 通信」では、ICTに不慣れな先生方への校内サポートを工夫した取り組みを紹介します。

『校務支援システム(C4th)を利用し、GIGA 端末活用を校内でサポート』

(田沼小学校での実践)

田沼小学校では、4月下旬から『1人1台端末 情報板』と名付けた掲示板の運用を校務用端末で行っています。C4thの連絡掲示板の機能を利用したもので、情報教育担当の荒井先生が中心となり、GIGA 端末の活用に関する情報を先生方間で共有しています。ここまで20件以上の情報が書き込まれ、先生方からも好評です。

「せっかく整備されたGIGA 端末を保管庫に入れっぱなしにしたいくない。各教室で積極的に活用していただくために担当として何ができるだろうか？」そんな思いから始めたとのことでした。

立川校長先生から「校長が発案したのではなく、荒井先生が中心となり、先生方間で始まったことが素晴らしいと思っています。先生方には、『掲示板は誰もが投稿できるものなので、一方通行ではない、双方向の運用を心がけてください。』ということだけ伝えました。」との話をいただきました。

掲示板をGIGA 端末の活用に生かしているという河西先生から「掲示板ができるまでは、GIGA 端末をどう使っていけばいいのかという不安しかありませんでした。でも、掲示板で紹介されたことをそのまま行えば、学校の流れについて行けるということがわかり、今はほっとしています。毎朝、同じ学年の先生と一緒に掲示板を確認してGIGA 端末を活用しています。」とのことでした。

GIGA 端末を「使わなくては」と思っている、ICTに苦手意識を持たれている先生方にとっては「どう使うの?」という思いが強いのではないのでしょうか。また、聞きたくとも「忙しい中、こんなことを聞いては。」という思いもあると聞いています。掲示板には「いつでも見られること」「繰り返し見られること」といった特徴があります。「『いつでも』『見ること』でわかる」ことは、苦手意識を持つ先生方にはとてもありがたいことです。田沼小学校での取り組みを各校でも参考にしてみてもはどうでしょうか。

現在、田沼小学校では高学年を中心に、毎日どこかの時間で必ずGIGA 端末の活用があるそうです。また、放課後の職員室では「GIGA 端末を今日こんな風に利用したよ。」といった話題が幾度となく聞かれるようになったとのことでした。

「苦手な私が言うのもおこがましいですが、いずれは、失敗した例でも投稿してみたいと思っています。」ある先生がおっしゃった一言が素敵に思えました。

(文責 教育センター所長)



～教育の力で佐野市を元気に～ 佐野市教育センターは皆さんの「やる気」と「不安」に応えます。